

ご挨拶

- ①出身地
- ②研究内容
- ③趣味
- ④好きな言葉



就任のご挨拶

山口 建 大学院医系科学研究科 医学分野 産科婦人科学 教授

- ①大阪府
- ②卵巣癌のゲノム、エピゲノム、代謝に基づく基礎研究、がん患者のQOL向上を目指したAIアプリ開発
- ③音楽鑑賞、ドライブ
- ④努力は天才に勝つ

2025年6月1日より、広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学の教授を拝命いたしました、山口 建と申します。私は1999年に大阪市立大学医学部を卒業し、京都大学婦人科学産科学教室に入局しました。2005年から京都大学大学院へ進学し、卵巣明細胞癌の発癌と治療抵抗性の基礎研究を行いました。2009年から米国DUKE大学へ留学し、エピゲノム解析を習得しました。2011年に帰国後は、京都大学で研究を継続しながら大学病院や関連施設で臨床に従事し、特に悪性手術と鏡視下手術に力を入れてきました。近年は、実診療での課題に感じていましたがん患者とQOLの研究を始め、がん治療サポートアプリを開発しました。広島大学ではロボット手術、デジタル医療を研究、診療に取り入れ、若手医師が生き活きと活躍できる場を作り、更なる発展に貢献したいと思います。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

安藤 俊範 大学院医系科学研究科 歯学分野 口腔顎顔面病理病態学 教授

- ①愛知県
- ②口腔がんの病態発生・薬剤耐性・免疫回避機構の解明と創薬開発
- ③歌、ギター、サッカー、読書
- ④真の矜持はたけだけしくない。それは若笹のように小心だ。

この度、広島大学大学院医系科学研究科 口腔顎顔面病理病態学の教授を拝命いたしました安藤 俊範と申します。

私は広島大学歯学部を卒業後、大学院にて口腔病理学を専攻し、2017年からカリフォルニア大学サンディエゴ校に留学し、がんのシグナル研究を学びました。帰国後、2020年から広島大学病院 口腔検査センターの助教、講師を務め、現在の教授に就任いたしました。当研究室では、口腔がんや歯周炎など口腔顎顔面領域に発生する疾患の病態メカニズムの解明から、新たな診断・治療法の開発まで一貫した研究を行っています。特に口腔がんでは遺伝子異常とHippo-YAP/TAZ経路の関連に注目しています。

今後は、口腔病理診断と最先端の研究指導を両輪で行い、研究マインドと国際的な視野を備えた次世代の口腔病理医・研究者を育成してまいります。皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。